

図解でわかる 藤山浩 編著 全3巻 田園回帰 1%戦略

3月刊行開始!

B5判・並製
128～144頁(カラー64頁)
各巻予価 2,600円

「過疎対策のバイブル」として、人口減少に悩む地域を中心に大きな話題を呼んだ『田園回帰1%戦略』（藤山浩著、農文協、2015年）。人口安定化を実現するためには、U・Iターンによって1年間に地域の人口の1%程度の定住増を実現すればよい、その新しい定住者を養うために「地域内消費⇄生産」の関係を強めることで地域で1%所得を高めればよいとする。この戦略は地方消滅を乗り越える希望のシナリオとして、多くの自治体や地域で取り入れられている。本シリーズは「田園回帰1%戦略」を最も関心の高い「循環型経済」「地域人口ビジョン」「小さな拠点」の3つの角度からわかりやすく図解する。

シリーズ第1回配本 「循環型経済」をつくる

B5判・並製128頁(うちカラー64頁)
●本体予価2600円 3月刊行

地域での家計調査をベースに、食料品や燃料などの地域内消費・生産を増やし、お金の流出を防ぐことで、移住者の仕事を生み出し、定住増を実現する戦略を明快に示す。

[執筆者] (◎編者執筆順)

◎藤山浩(一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長)

有田昭一郎(島根県中山間地域研究センター)

豊田知世(島根県立大学)

小菅良豪(一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所)

重藤さわ子(東京工業大学)

[目次]

- 序章 バケツの穴をふさぐー地域からの所得流出の深刻な実態
- 第1章 地域経済循環分析プロジェクトの紹介ー人口・経済・環境の総合持続性へ
- 第2章 地域版家計調査で中山間地域の暮らしと経済を組み立てる
- 第3章 食の地産地消で所得を取り戻す
- 第4章 エネルギーの地産地消で所得を取り戻すー木質バイオマスの活用と地域経済循環
- 第5章 地域の消費を変えてよりよい未来づくりをー長野県富士見町の事例から
- 第6章 連結決算で幸せを支えるー地域ぐるみの共生、最適化へ
- 第7章 循環の経済へ進化するー持続可能な地域社会をつくる30年構想プラン

【続巻】9月刊行予定■『地域人口ビジョン』をつくる 12月刊行予定■『小さな拠点』をつくる

*姉妹編「シリーズ田園回帰 全8巻」も好評発売中

申込書 「循環型経済を」をつくる ●予価2,600円+税		冊	●この注文書を会場内 農文協ブースにお持ち いただくか、 FAX03-3585-3668 (担当吉野)までFAXで お申込みください。
「地域人口ビジョン」をつくる(9月) 冊 「小さな拠点」をつくる(12月) 冊		冊	
氏名(団体名)	ご住所(〒 -)		
(ご担当者様)			
TEL - -	FAX - -	E-mail	@

農文協

注文専用 F A X 03-3585-3668 (農文協普及局・吉野行き)

<http://www.ruralnet.or.jp/>

〒107-8668東京都港区赤坂7-6-1 TEL03-3585-1144 FAX03-3585-3668